

市庁舎が日経ニューオフィス賞等を受賞



8月30日

市庁舎の理念や機能が評価され「日経ニューオフィス賞」(日本経済新聞社等主催)を受賞しました。また国土交通省の「防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン」に事例掲載されました。

第2子の保育料を無料化



10月1日

認可保育施設を利用する子育て世代の経済的な負担を軽減するため、すでに第3子以降では無料としている保育料を、3歳児～5歳児の第2子についても10月分の保育料から無料としました。

全国足利氏ゆかりの会総会を開催



10月17日

全国各地の足利氏ゆかりの方々が集まり、総会や講演会などを開催しました。会員相互の交流をはかり、阿南市における足利氏(阿波公方)に関する歴史と文化について認識を深める機会となりました。

西日本豪雨被災地へ市職員を派遣



7月～11月

7月上旬に西日本を襲った豪雨の被災地を支援するため、市職員を広島県、岡山県、愛媛県に派遣しました。職員は、避難所運営や復旧活動など被災地支援を行いました。

阿南市子ども議会を開催



8月3日

市制施行60周年を記念して、各小学校の代表23人による、「阿南市子ども議会」を開催しました。子ども議員は模擬議会の体験を通じて市議会や行政の取組を学び、まちづくりについて考えました。

人口1人当たりの所得 7年連続県内1位



8月3日

徳島県から「平成27年度市町村民経済計算推計結果」が公表され、阿南市の人口1人当たりの市町村民所得は3,660千円で県内最高となり、平成21年から7年連続1位に輝きました。



木枯らしに吹かれてあっという間に年末が迫ってきました。2018年を振り返ると、平昌冬季五輪やFIFA ワールドカップロシア大会が行われたことや、さまざまな災害が、時や場所を選ばず各地を痛めつけたことが記憶に新しいのではないのでしょうか。阿南市にとっては「市制施行60周年」という記念すべき年。さらなる飛躍へ決意を新たにしました。さて、去る11月1日に「2018年阿南市10大ニュース」の選考会が行われ、次の10項目を選定しました。市民の皆さまの10大ニュースはどのようなことでしたか。皆さまにとって新しく迎える年が、希望に満ちた輝かしい年でありますよう、心からご祈念を申し上げます。

あなんスマート・ワークオフィス落成



5月19日

サテライトオフィス誘致モデル施設「あなんスマート・ワークオフィス」が科学センター敷地内に完成しました。同施設は会議室、コワーキングスペースなどを設け、柔軟な働き方を推進します。

骨髄移植ドナー等支援事業を開始



4月1日

(公財)日本骨髄バンクが実施する事業において骨髄等を提供した際に、ドナーおよびドナーを雇用している市内の事業所に対して助成金を交付する事業を創設しました。8月には初の申請がありました。

阿南健康づくりセンター完成



5月20日

市民の健康づくりを総合的に推進する複合施設「阿南健康づくりセンター(愛称:あなん健康館)」が完成しました。7月から保健センターが業務を開始。9月から夜間休日診療所を開院しました。

市制施行60周年を迎える



5月1日

昭和33年5月1日に阿南市が発足し、今年で60周年を迎えました。同日市民会館で記念式典を挙行之、これまでの歩みを振り返り、市の一層の発展を祈念するとともに各種記念事業を実施しました。